

Vol. 90

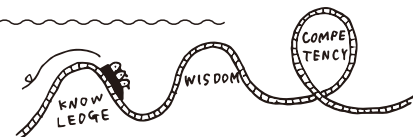
CONTENTS

【コラム】「知識」「知恵」「コンピテンシー」—活躍につながる3つの基本能力—…小林 真也

【解説】プログラミング入門科目の指針と実践例（前編）…久野 靖

【解説】小中学校における〈普通教育としてのプログラミング教育〉の展開と課題…紅林 秀治

COLUMN



「知識」「知恵」「コンピテンシー」
—活躍につながる3つの基本能力—



ジュニア会員の皆さん、将来、技術者や研究者として活躍したいですね。きっと、自身が活躍する姿を思い浮かべ、日々、学習に取り組み、自己の研鑽に励んでいると思います。

そんな皆さんに、当たり前で、でも、忘れがちな、あるいは、気づかずにいってしまう話をお伝えしましょう。

皆さんは、学生の中に、どのように成長しないといけなく思っていますか？

多くの方は、「知識」を増やすことが大事であると返事をしてくれると思います。

もちろん、「知識」は大切です。では、「知識」とは何でしょう？

知識は、『文章や図表、数式で表現可能で、人が認識、認知した内容』といえます。

自分が活躍する分野である情報工学、情報科学の知識を、より広く、より深く理解し、自分のものとすることは、活躍の糧になります。でも、「知識」の獲得にだけ意識を向けてはいけません。「知恵」と「コンピテンシー」を育むことも大切です。

いくら「知識」を持っていても、それを使いこなす能力がなければ、Web 検索と同じです。それどころか、検索エンジンに、知識の量で負けてしまいます。人間が機械に優る点の1つは「知恵」です。「知恵」は、『道理を判断し、処理していく能力。適切なときに、適切な方法で、適切な知識を利用する能力』です。「工夫」する能力といってもよいでしょう。ちなみに、「工学」の「工」は、「工夫」の「工」です。人類の「知識」を、世の役に立つように活用する工夫を行うのが「工学」です。工夫する能力である「知恵」を鍛えることも忘れないでください。

「コンピテンシー」は、『高い業績を上げ、活動を成功に導く行動特性』です。「行動特性」は生まれつきのものではありません。歯磨きをする赤ん坊はいません。行動は、初めは意識しながらであっても、継続すると、「無意識の振る舞い」となります。「コンピテンシー」は、いろいろなところで論じられており、必要な知識を自ら獲得するという行動や、自分の考えを伝える行動、チームメンバとして振る舞える特性など、いくつか分類されています。情報処理推進機構「実践的講座構築ガイド 評価基準編」(<https://www.ipa.go.jp/files/000056678.pdf>)の表 2-5 は、参考になると思います。

「少年老い易く学成り難し」、「光陰矢のごとし」。将来に向けて、学生の中に「知識」、「知恵」、「コンピテンシー」をしっかり伸ばしてください。

小林 真也(愛媛大学大学院理工学研究科)

LOGOTYPE DESIGN...Megumi Nakata, ILLUSTRATION&PAGE LAYOUT DESIGN...Miyu Kuno